

**年末手当を
考える③**

**ステークホルダーへの
公平な還元を!**

今こそ「人への投資を!」

- ★JR東日本は9月16日(水)、2021年3月期決算の業績予想と配当予想を公表して、「単体・当期純利益▲3,640億円(対前年▲5,230億円)、連結・親会社株主に帰属する当期純利益▲4,180億円(対前年▲6,164億円)」との大変厳しい経営状態であることを明らかにしました。
- ★では本当に資金がないのでしょうか!? そんなことはありません。会社は無担保で1兆円を超える資金調達を行い、未使用分が7,000億円あるとしています。(7/30日経新聞報道)
- ★また、「変革のスピードアップ~サステイナブルなJR東日本グループめざして~」では、コストダウンを進めていくが、巨額な費用がかかる品川・高輪での「街づくり」や羽田空港アクセス線建設はしっかり進めていくことを明らかにしています。

ホームドア設置などの安全投資は必要ですが、株主・お客さま・地域同様、社員も重要なステークホルダーである!!

- ★株主への配当は、2019年度決算で約623億円(対前年比+51億円)となっており、株主配当を生み出した側、社員・グループ会社社員への還元も同様に行うべきです。
- ★会社は「コロナ禍以前には戻らない」としていますが、鉄道事業や生活・サービス事業での社員・グループ会社社員の昼夜をと問わない奮闘があつてこそ、今日のJR東日本グループの維持・発展があるのです。

**変革「2027」の主人公である
社員・グループ会社社員の期待に応える**

基準内賃金×

2.6ヵ月+5万円を支払うべきだ!